

## 巻頭言

# ロコモ予防と読書

名古屋第二赤十字病院 院長  
佐藤 公治

私は子供の時からどちらかというと理系で、手を動かすのは得意だがあまり本は読まない方だった。もちろん働き始めて仕事の教科書や文献などは読んだが、小説などは皆無だった。思い出せるシリーズものは「竜馬がゆく」ぐらいか。それでも4歳のころよりビジネス本は読むようになった。特に管理職に成り、リーダーシップものは片っ端から読んだ。人は昔から同じような悩みを持ち、同じ事できていることがよく分かった。人間の脳は進化しているのかとも思う。

さて、私の本の買い方はやはりアマゾン。どこかで書評を見て、キーワードからタイトルを見て、ネットで調べて本を探しアマゾンで購入を検討する。新品にするか中古本にするか、それともデジタル本にするか一日悩みポチッとする。そういえば、本屋へめっきり行かなくなった。でも本屋は好きだ。時間つぶしに寄ることも多い。そして何か新しい課題を発見する。新刊本や雑誌は中を見たい。最近椅子の置いてある本屋もある。立ち読み大歓迎ということか。しかしさすがに写真

を撮るわけにはいかないので買うしかない。

先日、新しくなった安城市図書館情報館へ行った。古い本ばかり置いてある昔の図書館のイメージと違い驚いた。本の検索ができ、予約もネットでできる。はたまた近くの公民館で受け取り、返却もできる。雑誌や新聞も置いてあり、エアコンで一日快適に過ごせる。本以外のCDやDVDもある。個室も予約で使用可能と。こんな環境下で本を探すのは楽しい。引退後はここだなと思った。

「ロコモ予防は運動より栄養より、読書!?!」というNHKの番組を見た。山梨県が愛知県を抜いて健康寿命トップなのだが、その訳は図書館が多いというAI分析であった。自分で近くの図書館へ行って納得した。本を探して確かによく歩き、頭を使う。これは健康に良い。

日赤図書館雑誌の巻頭言なのだから、当然、当院の図書室のことを語らねば終われない。昭和55年から図書委員会ができてしっかり管理するようになった。平成4年から図書館司書である宮岡千代子さんが27年にわたり管理しており、頼りになる。早くからCD-ROM文献検索機を導入しホームページを充実させた。日赤本社とコンソーシアムでの共同購入やリンクリゾルバ(SFX)をシステム化した。オンラインジャーナル、IT化の時代で

---

SATO Koji

名古屋第二赤十字病院 院長

TEL : 052-832-5882 FAX : 052-832-5990

inchou@nagoya2.jrc.or.jp

ある。

当院の図書室は1病棟10階の見晴らしの良い素晴らしい場所にある。24時間365日使用可能なパソコンも置いてあり職員の自己研鑽の場となっている。決して忙しさを癒やされ

る休憩場所だけではいけない。学会発表や論文作成は臨床教育病院の大切な使命である。引き続き職員が切磋琢磨できる空間やシステムを病院として提供していきたい。



10階からの景観